



春です!! 待ちに待った桜の季節がやってきました。

この桜ほど、日本人の心をとらえて離さない花はありません。春を象徴する風物のひとつで、お花見の時期には桜の開花状況に気もそぞろ。満開の桜を見れば、感動的な気分にもさせられます。身近な千円札や百円玉にも可憐な桜が描かれていますよね。

岐阜県は南北で標高差が大きいので、南の美濃から北の飛騨へだんだんと桜前線が進んで行くので、長い期間いろいろな場所で桜を楽しむことができます。

春はイベントも盛りだくさん! 桜前線を追いかけながら岐阜を北上しませんか。



イベント・観光情報 ① 春爛漫!! 『桜』を愛でよう♪ 出かけよう♪



歴史が息づく桜を実際に見てみませんか!

満開のぎふ桜探訪

春の訪れを「桜」で実感される方も多いでしょう。県内には、様々な桜の名所がありますが、今回は歴史がある桜をご紹介します。実際に足を運んで、春の訪れとともに歴史を感じてみてはいかがでしょうか。

※今年の見ごろの時期については、各問い合わせ先にご確認ください。



うすすみざくら

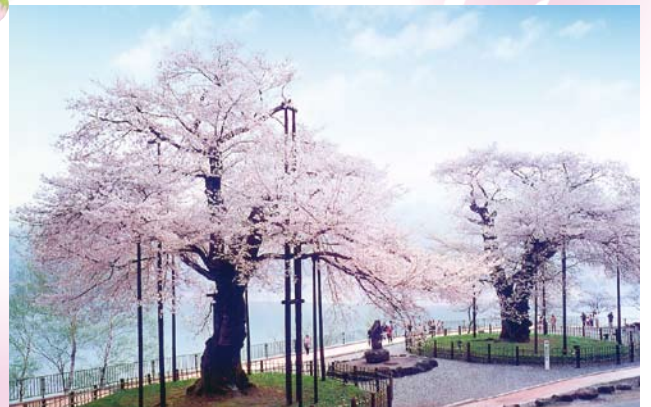
淡墨桜

(本巣市根尾)

～例年の見ごろ～
4月上旬～中旬

樹齢1500余年、継体天皇お手植えの桜と伝えられ、つぼみの時には淡いピンク、満開になれば白に、そして散り際には淡い墨色に変化していきます。日本三大桜の一つに数えられ、国の天然記念物にも指定されています。

〈お問い合わせ〉 本巣市観光協会 TEL 058-323-3222



しょうかわざくら

莊川桜

(高山市莊川町)

～例年の見ごろ～
4月下旬～5月上旬

昭和35年、御母衣(みぼろ)ダムの建設にあたり、湖底に沈む照蓮寺と光輪寺の境内にあった2本の桜の巨木を、世界の植樹史上例のない大移植をしたもので、現在も昔と変わらず壮大に咲き誇っています。

〈お問い合わせ〉 飛騨莊川観光協会 TEL 05769-2-2272

水の都おおがき 舟下り/たらい舟

要予約
(雨天中止)

水の都と呼ばれ、水が美しく豊かな大垣。街の中心を流れる水門川を、春の桜を観ながら舟やたらいに乗って下ります。(事前予約が必要。雨天時は中止となります。)

【場 所】市営東外側駐車場前・高砂町(乗船場)～奥の細道むすびの地・船町(下船場)

【交 通】JR東海道本線大垣駅南口下車、徒歩5分

舟下り

1回8艘運行 (定員大人6名/艘)
【開催日】3月30日(土)～4月14日(日)
4月7日除く15日間
【時 間】9:20～10:10～11:00～
11:50～13:30～14:20～
15:10～16:00～
【料 金】大人1,000円/人
小人 500円/人



たらい舟

1回12艘を運航 (定員大人2名/艘)
【開催日】4月20日(土)、21日(日)、
27(土)～5月6日(月・振休)
12日間
【時 間】9:00～10:15～11:30～
13:00～14:15～15:30～
【料 金】1艘2,000円



〈お問い合わせ/ご予約〉
大垣市観光協会 TEL 0584-77-1535(平日8:30～17:15) <http://www.okagikankou.jp/event/fune2013/index.html>

土岐美濃焼まつり

日本3大陶器まつりのひとつ。県内外から30万人以上の人で賑わい、この地方最大の陶器市です。陶磁器卸商社約60社が、年に一度の破格値で出す「陶器廉売市」は人気。ほかにも様々なイベントや催し物があり、ゴールデンウィークの一日を楽しく過ごせます。



【開催日】5月3日(祝・金)～5日(日)
【場 所】織部ヒルズ (美濃焼卸商業団地)
【時 間】9:00～17:00
【交 通】中央自動車道・土岐ICから国道21号線を北へ約5分

〈お問い合わせ〉
(協)土岐美濃焼卸センター TEL 0572-55-1322
<http://www.oribe-hills.com/>

岐阜県観光連盟のホームページには、ほかにも旬な情報がいっぱい! ぜひチェックしてください。 <http://www.kankou-gifu.jp/>



イベント・観光情報 ② もっともっと盛り上がるお楽しみ情報を教えちゃうよ!

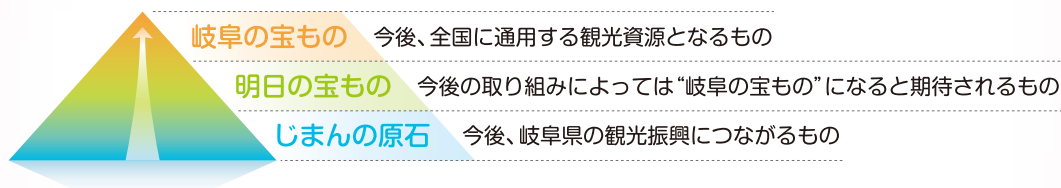


新しい「岐阜の宝もの」「明日の宝もの」が決定しました!



「岐阜の宝もの認定プロジェクト」

岐阜県では、県民の皆さんの幅広い意見をお聞きし、ふるさとの誇りとなる地域資源(じまん)を掘り起こし、磨きをかけ、地域の魅力を高める「岐阜の宝もの認定プロジェクト」を平成19年から進めています。この5年間、地域の皆さんが主体となって、“じまん”の魅力向上に取り組んできた結果、「岐阜の宝もの」等と周辺観光地を繋いだツアーの誕生、新たな特産品の発売、メディアへの露出が高まり観光客が増加するなど、着実に成果が現れてきました。



第6回 飛騨・美濃じまんミーティング ～岐阜の宝もの認定式～

こうした成果を踏まえ、平成25年2月9日(土)岐阜市内にて、これまでに選定された「じまんの原石」の中から、新たな「岐阜の宝もの」「明日の宝もの」を発表し、知事から認定証の授与が行われました。

「岐阜の宝もの」

●中山道 ぎふ17宿

【17宿】馬籠宿、落合宿、中津川宿、大井宿、大湫宿、細久手宿、御嶽宿、伏見宿、太田宿、鷯沼宿、加納宿、河渡宿、美江寺宿、赤坂宿、垂井宿、関ヶ原宿、今須宿

【関係市町】中津川市、恵那市、瑞浪市、御嵩町、可児市、美濃加茂市、坂祝町、各務原市、岐阜市、瑞穂市、神戸町、大垣市、垂井町、関ヶ原町



「明日の宝もの」

●大垣 水景物語

【資源名】大垣の湧水・地下水、水まんじゅう、住吉燈台・船町港・赤坂港、木柁、名水わさび、水屋郡などの風景と輪中文化

●岐阜ローカル鉄道の旅

【資源名】養老鉄道、明知鉄道、長良川鉄道、樽見鉄道

●中津川の栗きんとん巡り

●笠置山クライミングエリア

●種蔵「棚田と板倉の風景」と山里文化

●美濃竹鼻まつり・ふじまつり

◆岐阜の宝もの認定プロジェクト <http://www.pref.gifu.lg.jp/kanko-bussan/shiru/gifuno-takaramono/>

◆ウェブサイト「旅する岐阜の宝もの」 <http://www.gifu-travel.jp/>



メールマガジン

「ぎふの田舎へいこう!」通信 読者募集!!

“ぎふの田舎”の四季を肌で感じる田舎体験情報満載のメールマガジン。田舎で「遊び」、「学び」、「貢献できる」情報をお届けします。

〈お問い合わせ〉

岐阜県農村振興課農村企画係
TEL 058-272-8460(直通)

★バックナンバー等、詳しくはこちらを検索↓

ぎふの田舎へいこう!

- 発行頻度／毎月1回
- 掲載内容／田舎体験イベント情報、農村ボランティアや農園オーナーなどの募集情報 岐阜県からのお知らせ など
- 登録料／無料
- 登録方法／メールのタイトルを「メルマガ配信希望」として、下記の①～④について記載のうえ送信してください。



【送信先】 c11427@pref.gifu.lg.jp (岐阜県農村振興課)

①住所(町村名まで) ②氏名(ふりがな) ③年齢(年代のみ)

④配信先メールアドレス ※また、「配信申込書」もご利用いただけます。

市町村情報

毎号、圏域ごとに市町村をピックアップして旬の情報をお届けします！
今回は、岐阜圏域の「各務原市」と「山県市」をご紹介します！



都市戦略課 / TEL 058-383-4959 <http://www.city.kakamigahara.lg.jp/>

各務原市



最初に念のため…、本市は「かかみがはら市」です。「なんとか市」でこのコーナーを乗り切ろうとした思い切りの良いあなた、お見知りおきを！

さて、愛知県との県境に位置する本市は、市街地に緑があふれる美しい都市です。「あー、田舎自慢ね」と思うことなかれ、公園都市を都市ビジョンのひとつに掲げ、自然と都市が調和したまちづくりを展開している本市の街の景観は、季節の移ろいとともあなたの暮らしを様々に彩ることでしょう。

25年度には市制施行50周年を迎える各務原市。要チェックです！



KAKAMIGAHARA CITY 50TH ANNIVERSARY

桜まつり

各務原の春を彩る桜。中でも日本のさくら名所100選に選ばれている新境川堤は、桜がトンネル状に咲き誇り一見の価値あり！毎年20万人が訪れる桜まつりでは、桜観覧船の運航のほか、市民公園で多くのイベントが行われます。

■平成25年4月6日(土)・7日(日)



桜まつり(新境川堤～市民公園)

日本一の公園都市 (パークシティ)

公園都市・各務原には、家族で夢中になれる場所がたくさんあります。広大な公園を舞台に開催されるイベントで遊びに、四季折々の風景からあなただけのお気に入りのフォトスポットを探しに、はたまた毎日のウォーキングに、楽しみ方いろいろ！



チビッコ冒険広場(学びの森)

新緑ブックフェスティバル(市民公園)

各務原市に住んでみませんか

実は、ここ各務原に人類が住みはじめたのは遥か5000年前、縄文時代中期にまでさかのぼります。縄文時代の皆さんが竪穴式住居を建ててしまうほどのこの住み心地、何も5000年前に限った話ではありません。子育て応援事業の数々、地下水を水道原水とするおいしい水道水、大都市へのアクセスの良さなどなど、昔も今も変わらぬ「住み心地」、ぜひ一度ご体験を！

企画財政課 / TEL 0581-22-6825 <http://www.city.yamagata.gifu.jp/>

山県市



山県市名山めぐりイメージキャラクター 山県さくら



山県市の名称は、正倉院に現存する最古の戸籍「御野国山方郡」に由来します。岐阜市の北部に隣接し、国道や主要地方道が縦横に通る幹線道路が整備されており、名古屋圏への通勤にも便利な立地となっています。

面積の80%超を森林が占め、アユやアマゴ釣りを楽しめる武儀川、ワカサギ釣りを楽しめる伊自良湖などの自然が豊富です。名古屋から車で1時間。休日をのんびり過ごしにお越しください。

山県市名山めぐり

イメージキャラクター「山県さくら」が「舟伏山」「釜ヶ谷山」「相戸岳」の日帰り登山をPRします。特に、絶滅危惧種「イワザクラ」をはじめ種類豊富な花が咲く舟伏山が人気！平成25年4月からは、各山頂に設置された山県さくらの看板との記念写真を3枚そろえた方に、認定証と粗品を進呈します。ガイドブックもできました！

〈お問い合わせ〉山県市役所 TEL 0581-22-2111(代表)

四国山香りの森公園香り会館

全国でもめずらしい「香り」をテーマにした体験型施設。季節のリースをはじめ、香水やアロマキャンドルづくりなど、いろいろな香り作りが気軽に体験できます。併設の喫茶店「ハーブレンド」ではハーブティーやご当地バーガー「やまがた元氣玉バーガー」をお召し上がりいただけます。

〈お問い合わせ〉香り会館 TEL 0581-22-5400



舟伏山



四国山香りの森公園香り会館

山県市に住んでみませんか

現在、東海環状自動車道西回りルート of インターチェンジ建設が進められており、その立地を生かした企業誘致を積極的に推進しています。一方で、市北部は森林や清流など自然が豊富で、休日をのんびり過ごすには最適な環境です。また、新生児の出産、新築家屋、高校生の医療費に対する助成として市内の店舗で利用できるまちづくり振興券を交付するなど、子育て世代を応援しています。

トピックス 今話題の情報や、ぎふふるさと暮らしの応援情報をお届けします!

毎月10日は
移住の日!

～岐阜で「田舎暮らしを始めませんか～」

継続開催 決定!

ぎふふるさと暮らし「月例・名古屋相談会」

「空気のきれいな田舎に住みたい」「農のある生活を楽しみたい」「子どもに自然体験をさせたい」という皆様、その憧れを岐阜で実現してみませんか?

県と県内市町(月替わりで1～2市町)が、毎月10日に移住相談会を開催し、田舎暮らし・田舎体験の相談にお応えします。



【日時】毎月10日 10:00～18:00

【場所】中日ビル2階 特設会場(名古屋市中区栄4-1-1)

【参加費】無料(事前申込不要)

〈お問い合わせ〉

岐阜県観光課まちづくり支援・移住定住係

TEL 058-272-8078(直通)

ぎふふるさと暮らし

◇年間スケジュール(平成25年度)

期 日	参加自治体
4月10日(水)	岐阜県のみ
5月10日(金)	恵那市 七宗町
6月10日(月)	高山市
7月10日(水)	本巣市 飛騨市
8月10日(土)	中津川市 揖斐川町
9月10日(火)	郡上市 下呂市
10月10日(木)	関市 大垣市
11月10日(日)	中津川市 各務原市
12月10日(火)	揖斐川町 七宗町
1月10日(金)	高山市 山県市
2月10日(月)	郡上市
3月10日(月)	恵那市

『ぎふふるさと暮らし応援センター』 終了のお知らせ

名古屋市の中日ビル(地下1階)において、田舎暮らし体験イベントや移住支援などの情報提供のほか、岐阜の魅力を味わっていただける県内各地域の特産品の販売を行ってまいりました『ぎふふるさと暮らし応援センター』は、平成25年3月19日(火)をもって終了いたします。

期間中、3万人を超える多くの方にお立ち寄りいただきありがとうございました。

ありがとうございます
ございました



ぎふふるさと暮らしキャラクター
「ぎふいくぞう」

ふるさとぎふ振興寄付金(ふるさと納税)に ご協力を!

“岐阜県を応援したい”という思いを
寄付という形で実現しませんか

ふるさとぎふ振興寄付金は、「ぎふが好き」「ぎふを応援したい」という思いを、寄付金という形にして、ふるさと岐阜県づくりに役立てていこうというものです。



詳しくは、ホームページをご覧ください。

ふるさとぎふ

編集・発行

岐阜県ファンクラブ事務局 岐阜県観光課内

〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1
TEL 058-272-8078(直通) FAX 058-278-2674
E-mail: ijuu-gifu@pref.gifu.lg.jp

会報誌はホームページでもご覧いただけます

岐阜県ファンクラブ

会員募集中

お知り合いの方にも、ぜひ「岐阜県ファンクラブ」を紹介してくださいね。

編集後記

岐阜県ではよく見られる里山の風景ですが、やっぱり春は格別です。のどかで暖かで懐かしいものを感じさせてくれる原風景。子供の頃、春に家族で行く川原の土手のセリやつくし採りが楽しみでした。つくしを見つけた時の嬉しさ、たくさん採れたねと笑いあう顔と顔。夕餉のおかずにと、爪を黒くしながらお手伝いしたつくしのはかま取り。醤油で煮たつくしのほろ苦さや、セリのおひたしの独特の香りと味は、なぜかいつになってもはつきりと思い出せます。春の息吹を感じ、この春は父母も誘って皆で摘みに行こうかな。

